

# リケンテクノス株式会社

## 2014年3月期

### 決算説明会

2014年5月27日

■決算概要

■今後の事業戦略

■業績予想

# 決算概要

# 2014年3月期 業績サマリー

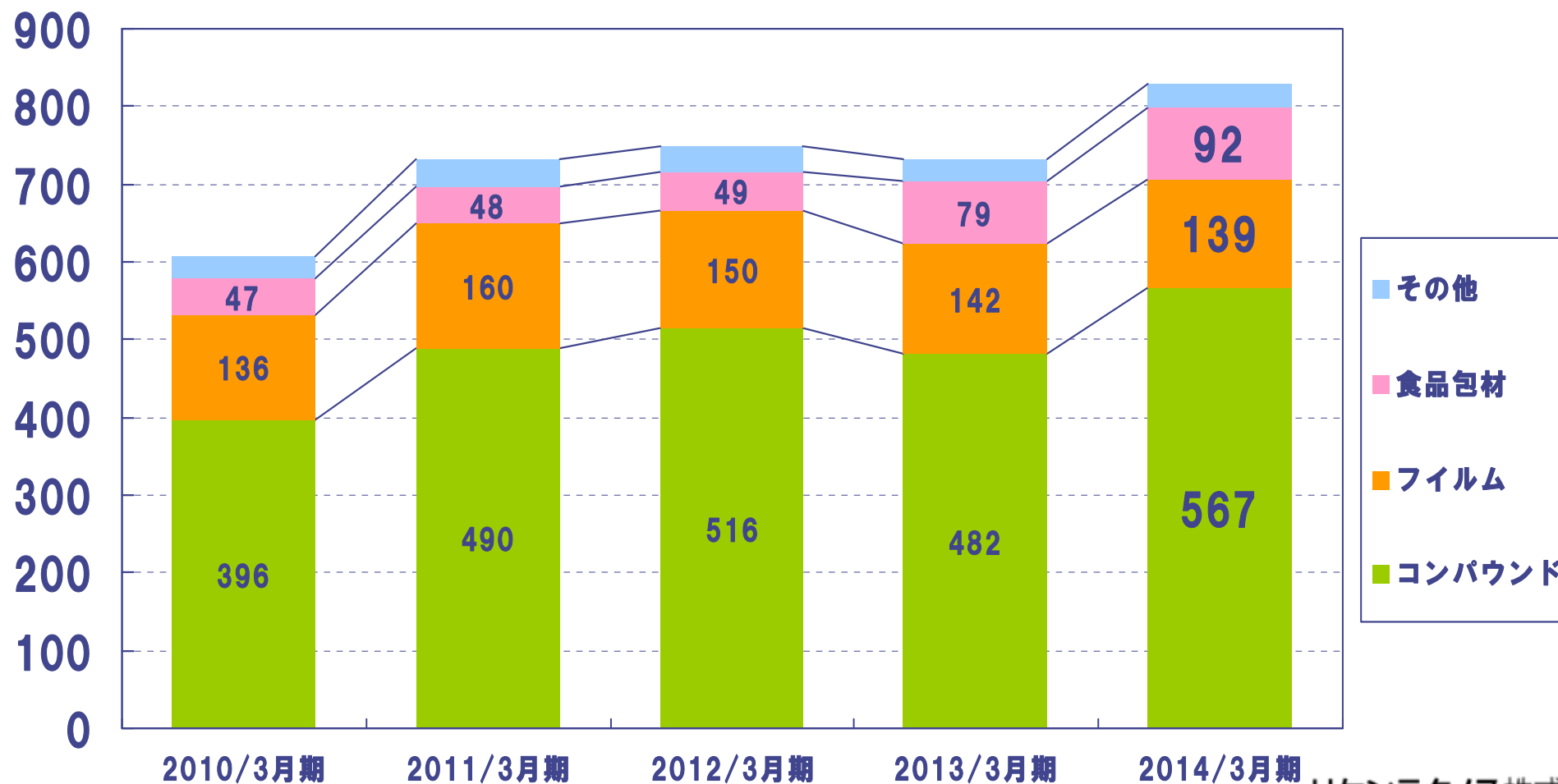
単位：百万円、円

科目	2014年 3月期	2013年 3月期	前期比	増減率	2014年3月期 業績予想	達成率
売上高	82,855	73,543	+9,312	+12.7%	82,000	101.0%
売上総利益	13,120	10,319	+2,801	+27.1%	—	—
営業利益	3,732	1,883	+1,849	+98.2%	4,000	93.3%
経常利益	4,016	2,271	+1,745	+76.8%	4,000	100.4%
当期純利益	1,925	1,351	+574	+42.5%	2,400	80.2%
1株当り利益	32.17	22.38	+9.79	+43.7%	40.09	80.2%

# セグメント別売上高推移

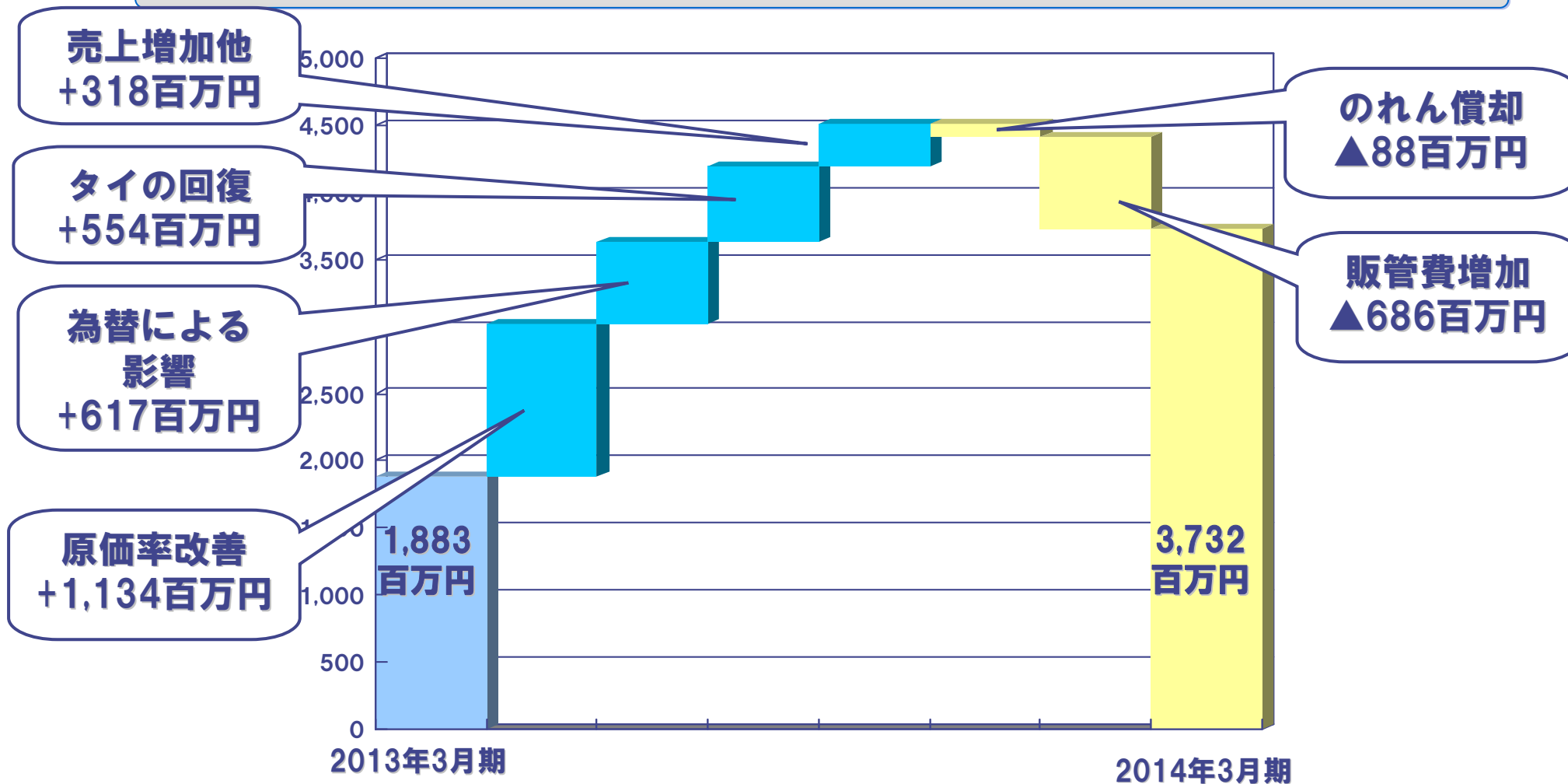
2014年3月期 売上高 828億円  
 前年同期比 93億円増 (12.7%増)

単位：億円



# 営業利益の増減要因分析

営業利益 3,732百万円 前年同期比 1,849百万円増益



## 連結貸借対照表

## キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

### 資産合計

**77,208**百万円

前期末比 8,210百万円増

流動資産 46,668百万円

固定資産 30,540百万円

### 負債合計

**36,251**百万円

前期末比 5,067百万円増

### 純資産合計

**40,957**百万円

前期末比 3,142百万円増

当期

前年  
同期比

営業CF 5,707 ▲794

投資CF ▲3,624 5,258

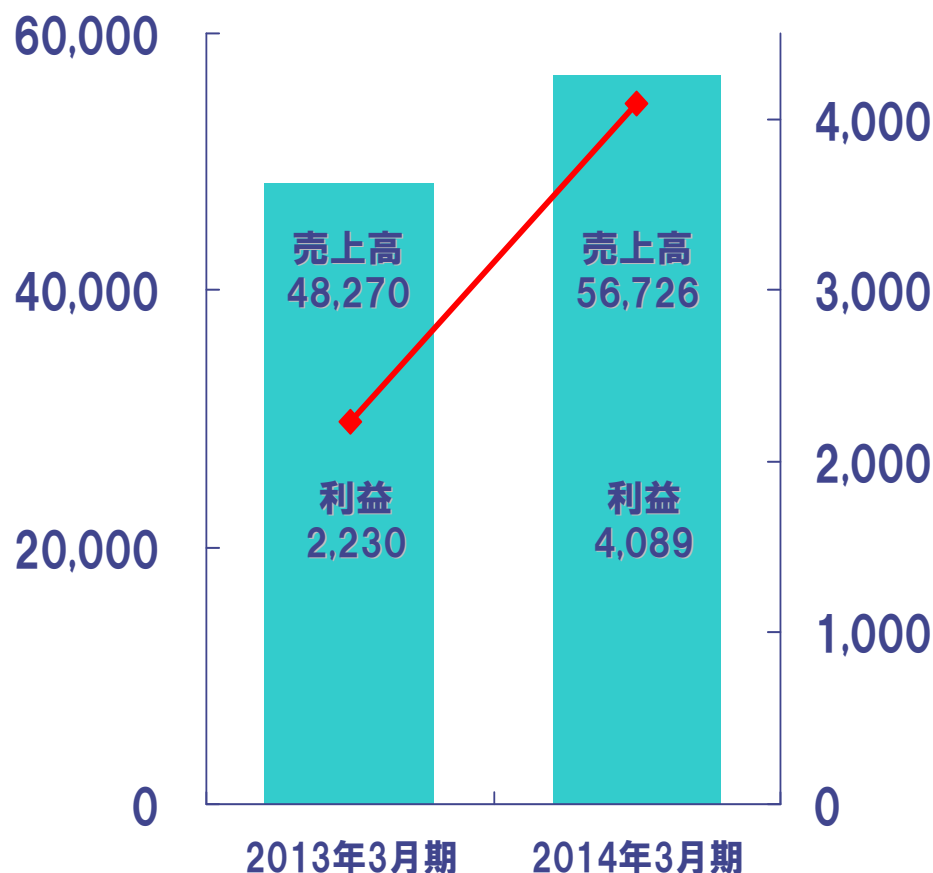
財務CF 602 ▲2,323

増減額 3,126 2,232

期末残高 11,698 3,126

# セグメント別動向① コンパウンド事業

単位：百万円

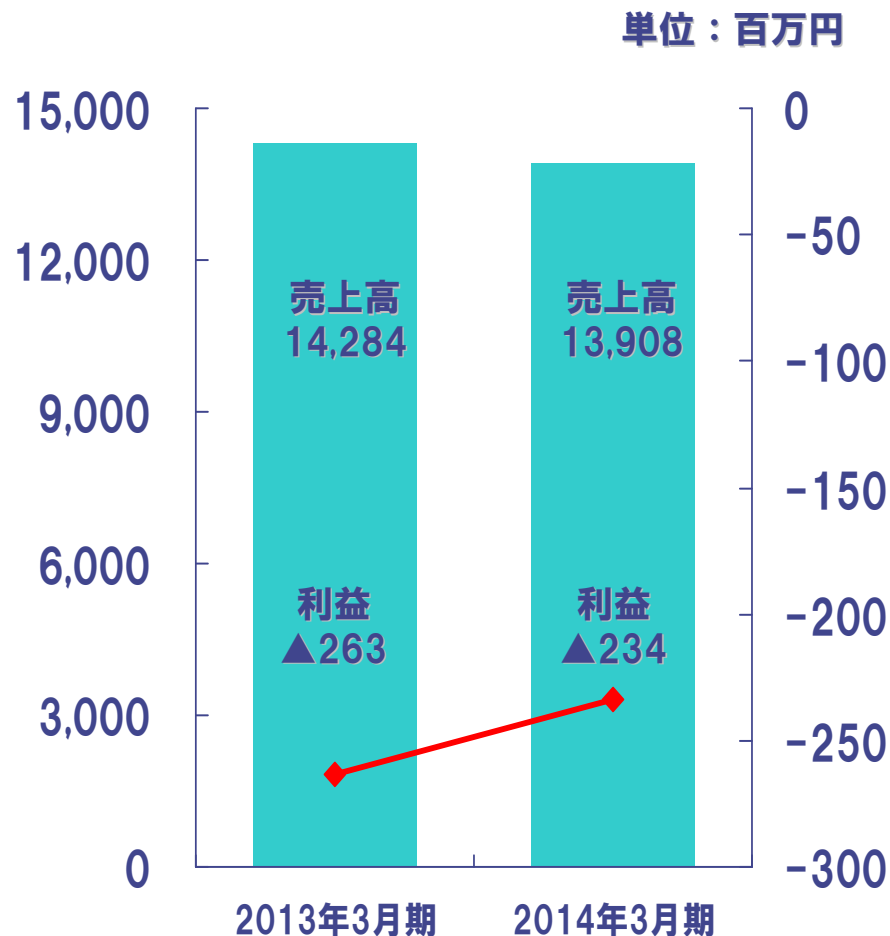


**8,456**百万円増収 **1,859**百万円増益  
 前期比17.5%増 前期比83.4%増

国内は消費税引き上げ前の駆け込み需要もあり、建材・電材市場の売上が堅調に推移。  
 自動車も生産の増加により引続き好調。  
 海外は各拠点共自動車市場、電線市場を中心に売上が伸長。  
 タイ国現地法人が洪水から復旧し売上回復。  
 米国2現地法人も自動車、住宅市場の需要を確実に捉え増収増益。



# セグメント別動向② フィルム事業



**376**百万円減収

前期比2.6%減

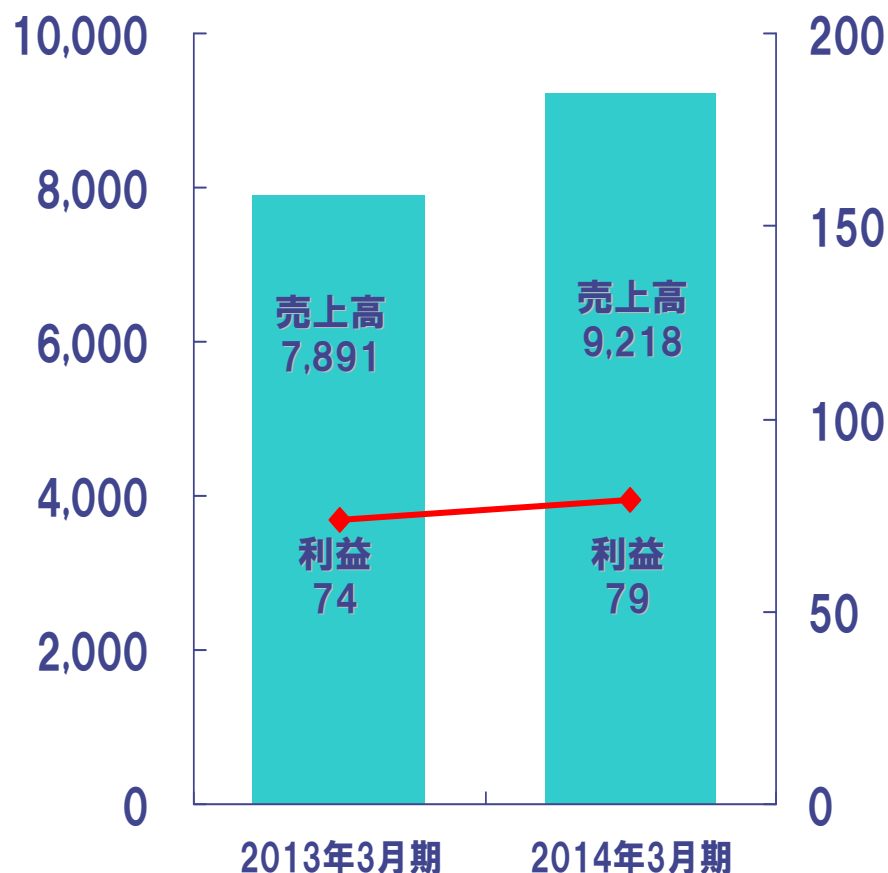
**29**百万円

損失縮小

国内は、消費増税前需要を背景に主力の建築材市場は好調に推移。広告メディア関連も増加。海外は、米国は好調も、欧州市場の回復傾向は限定的で低調に推移。光学市場ではPDP用フィルムから撤退し、新製品開発に注力するものの売上には寄与せず。

# セグメント別動向③ 食品包材事業

単位：百万円



**1,327**百万円増収

前期比16.8%増

**5**百万円増益

前期比6.8%増

個人消費に回復の兆しが見られるものの、食品・日用品に対する低価格指向が強まり、原材料価格上昇分を製品に転嫁できず厳しい状況が続く。

一方、生産、技術部門では統合により生産効率化を行い、コスト削減を実現。

# 今後の事業戦略

- 計数目標（初年度実績と最終目標）
- 主要課題（初年度実績と次年度課題）
- 最重要市場への取組み
- 設備投資状況
- 海外展開（ロードマップ）

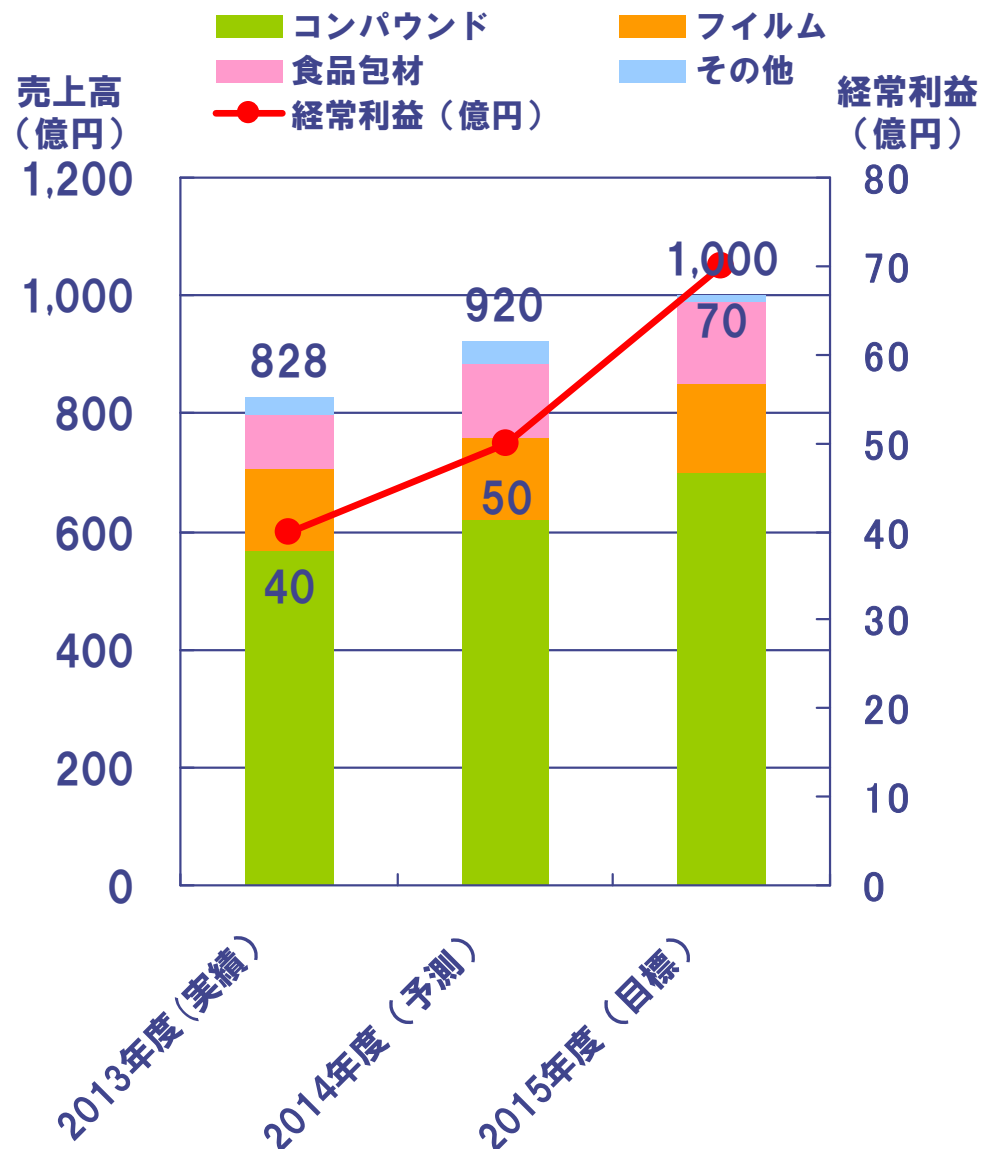


Dimensional Change

次元を変えた取り組みを行う

グローバル、更なるスピードアップ

(連結ベース)	2015年度 (最終年度)
売上高	1,000億円
営業利益	70億円
経常利益	70億円
当期純利益	40億円



**コンパウンド事業の更なるグローバル展開**

**フィルム事業の抜本的な立て直し**

**最適な営業推進体制の構築**

**ソリューション事業の事業化実現**

**徹底した人材育成**

## コンパウンド事業の更なるグローバル展開

### 2013年度の実績

#### ◆最重点市場への施策

##### <自動車市場>

##### タイ エラストマー工場稼働

日本・米国・タイの3極体制

##### <医療・ヘルスケア市場>

##### インドネシアPVC工場稼働

日本・タイ・インドネシアの  
3極体制



#### ◆グローバル供給体制の強化

### 2014年度の課題

#### ◆生産設備増強

#### ◆海外拠点との協業による拡販

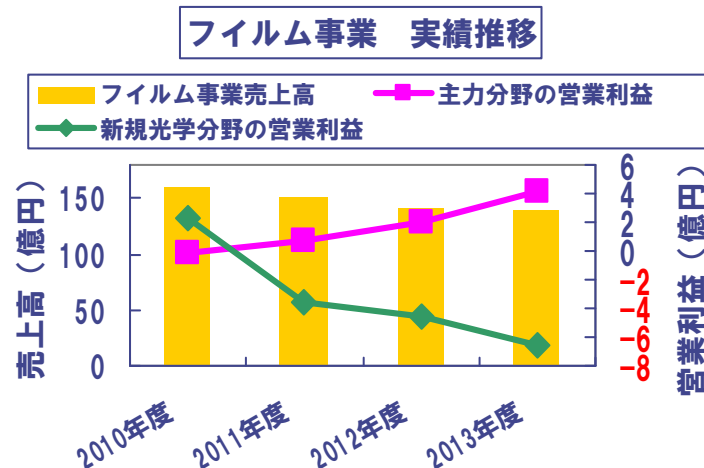
#### ◆新製品のグローバル展開

#### ◆グローバルネットワーク強化

## フィルム事業の抜本的な立て直し

### 2013年度の実績

- ◆主力事業での安定黒字化
- ◆光学市場においてPDPからの完全撤退
- ◆新製品への開発注力、上市への準備



※PDP:プラスマディスプレイ

### 2014年度の課題

- ◆主力事業での黒字拡大
  - ⇒ 建材分野でのリフォーム需要
  - ⇒ オリンピック需要等の取込み
  - ⇒ 徹底したコストダウン実施
  - ⇒ 様々な新製品の販売

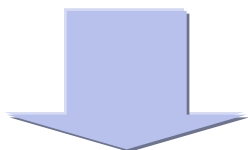
- ◆光学フィルムのディスプレイ市場への新製品の上市
  - ⇒ ガラス代替フィルム上市
  - ⇒ 両面ハードコート of 拡販



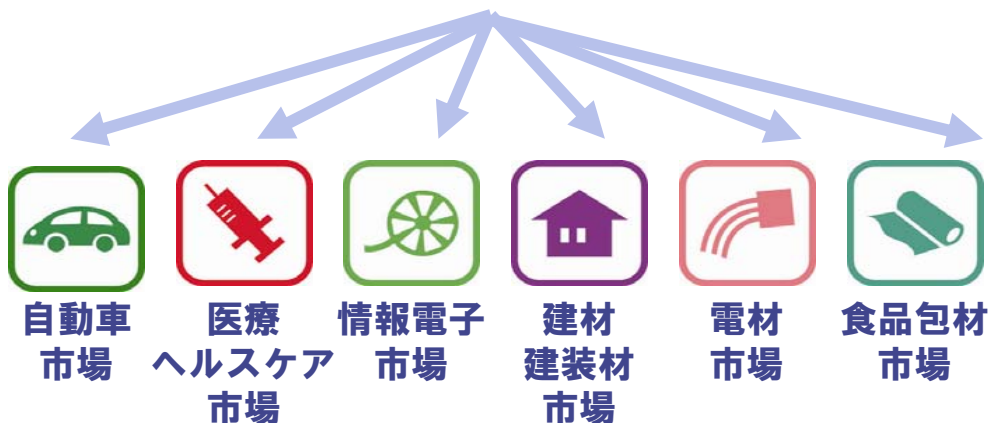
## 最適な営業推進体制の構築

### 製品別営業体制

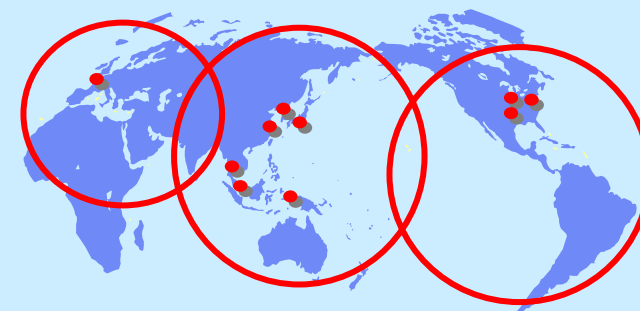
コンパウンド    フィルム    食品包材



マーケットインを目指した  
ビジネスユニット体制



### グローバル ネットワークの構築



## 売上拡大

2015年度 売上目標 280億円

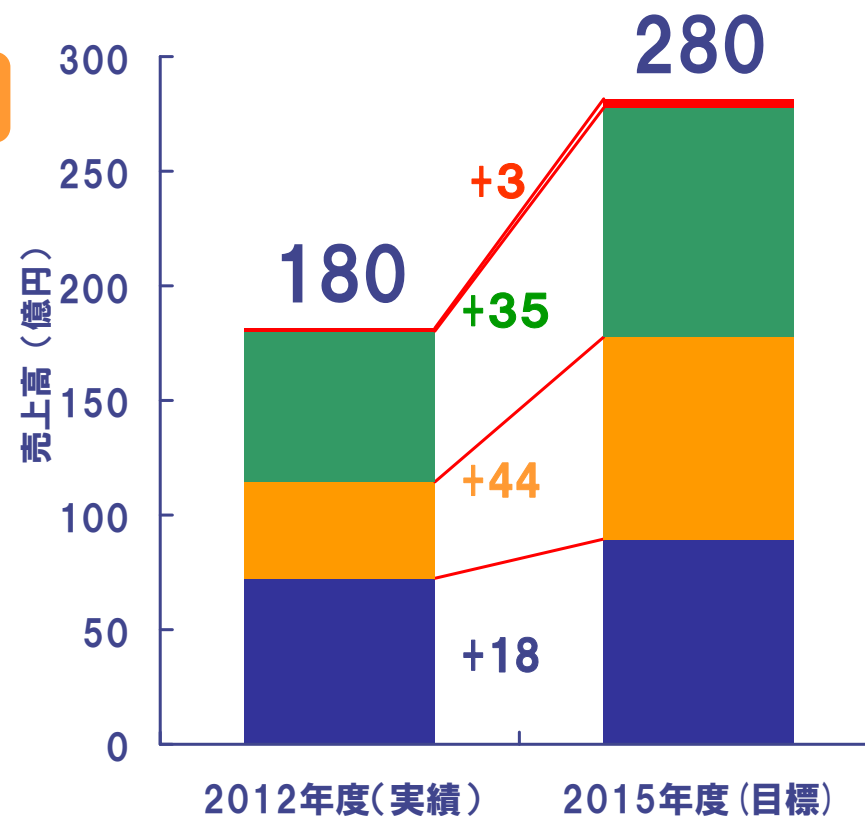
2012年度比 +100億円

## 施策

- エラストマー新グレード「オレフレックスN」の拡販
- ゴム代替の拡販
- 非日系メーカーへの戦略的参入
- 加飾フィルムの拡販
- 自動車用電線/電装拡販
- 新製品開発

## 自動車分野 売上高

■ 内外装部材（国内）    ■ 内外装部材（海外）  
■ ワイヤーハーネス        ■ フィルム



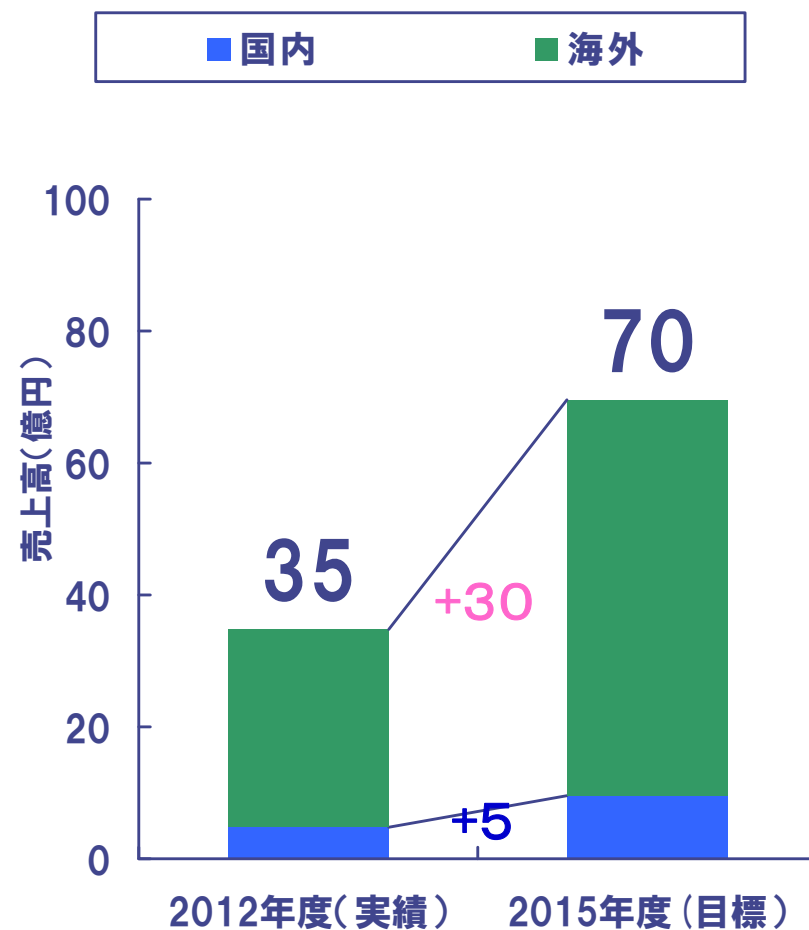
## 売上拡大

2015年度 売上目標 70億円  
2012年度比 +35億円

## 施策

- 非フタル酸系可塑剤製品の市場投入（血液回路・血液バッグ・各種チューブ等）
- グローバル拡販
- ゴム代替TPEの拡販（シリンジガasket・栓体等）

## 医療ヘルスケア分野 売上高



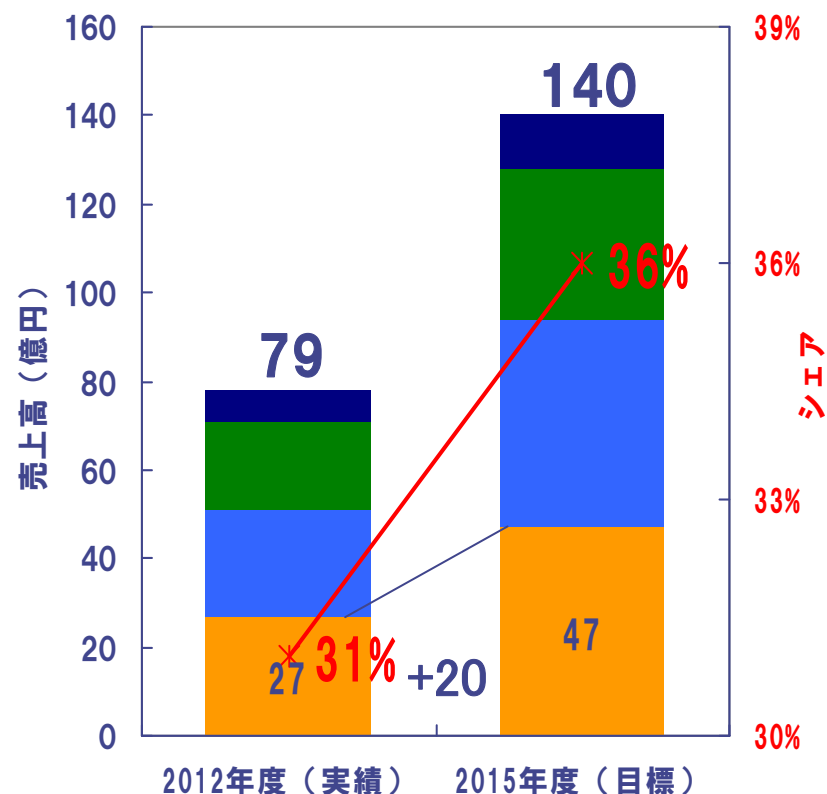
## 売上拡大

2015年度売上目標 140億円  
 2012年度比 +61億円  
 業務用塩ビラップシェア目標 36%

## 施策

- 統合による広範な販売チャネル網の活用  
 ⇒市場のイニシアティブの掌握
- 市場の塩ビ回帰の潮流を捉える  
 ⇒包装適性の優位性をアピール

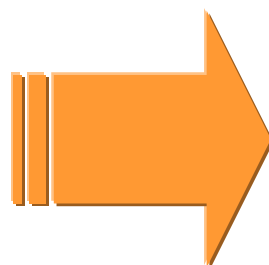
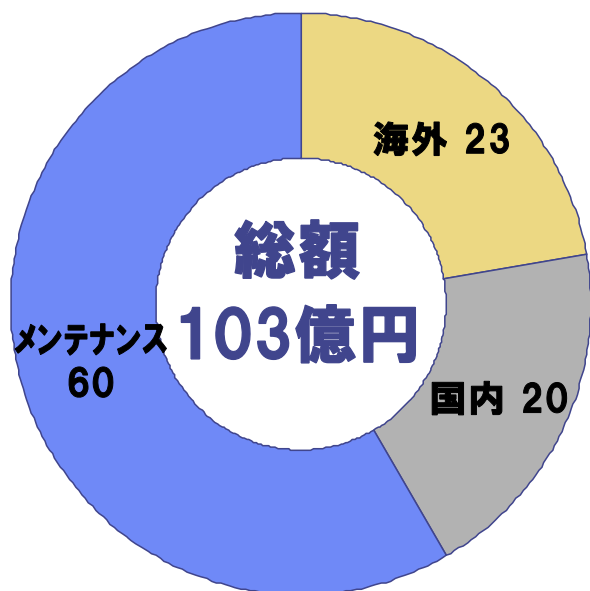
## 食品包材分野 売上高



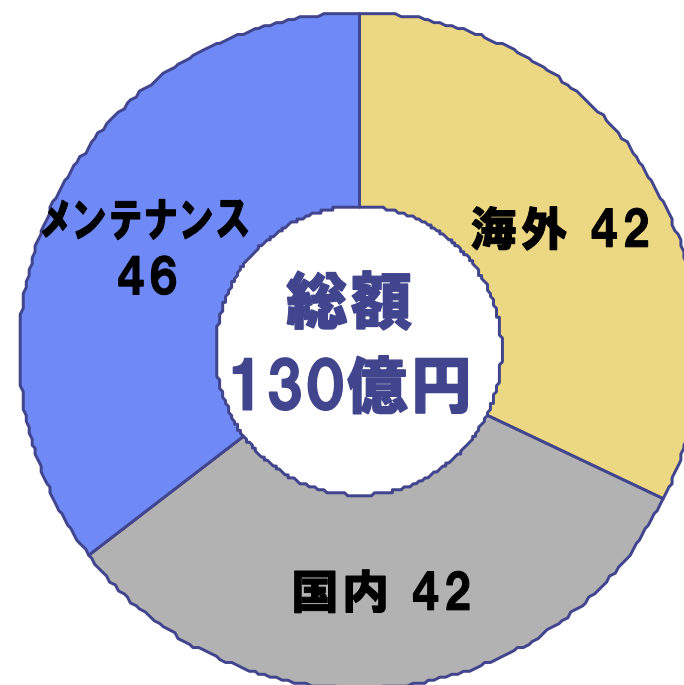
年度	国内	海外	合計	
2013年度 (実績)	エラストマー 塩ビ 光学フィルム フィルム ラップ 基幹システム	製造設備増設 製造設備増設 製造設備新設 製造設備改善 製造設備改善 更新	米国 エラストマー製造設備増設	37億円
2014年度 (計画)	塩ビ 光学フィルム ラップ 基幹システム	製造設備改善 製造設備新設 製造設備改善 更新	米国 エラストマー製造設備増設 インドネシア 塩ビ 製造設備増設	44億円
2015年度 (計画)	ラップ 基幹システム	製造設備改善 更新	中国 塩ビ 製造設備増設  タイ エラストマー製造設備増設  新規生産拠点 新設	49億円

※メンテナンスを含む。

## 初期計画



## 見直し計画



## 更なるグローバル展開、強化

2013

2014

2015

全域

グローバル営業体制強化(統括会社設立)

海外拠点との協業による(戦略市場)拡販、グローバルネットワーク構築

アジア

タイ エラストマー工場稼動

タイ エラストマー増設検討

自動車  
電線  
情報電子  
医療

インドネシア 医療用塩ビコンパウンド工場稼動、販売の強化

インドネシア一般塩ビ増設ライン稼動

**海外  
売上高比率  
50%以上が目標**

中国 増設ライン稼動

北米

米国 エラストマー増設ライン稼動

自動車  
建材

輸出フィルム海外生産 検討

OEM生産の開始

欧州  
その他

未開拓地域(中南米、EU他)の市場調査

アセアン地区新規生産拠点の検討

重点市場に強い企業とのアライアンス等の検討

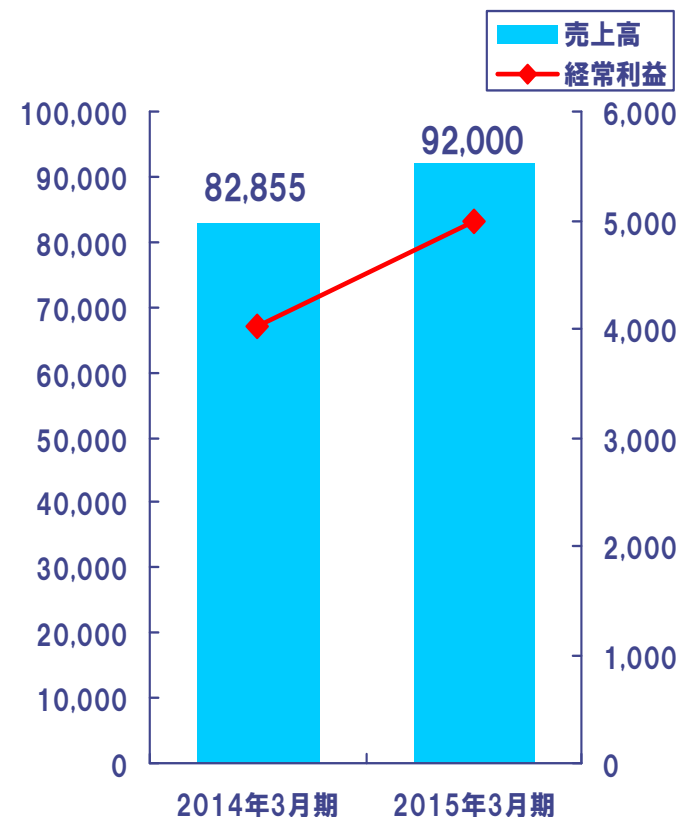
# 業績予想



# 2015年3月期の業績予想

(単位：百万円、円)

科目	2015年3月期 業績予想	2014年3月期 実績	伸び率
売上高	92,000	82,855	+11.0%
営業利益	5,000	3,732	+33.9%
経常利益	5,000	4,016	+24.5%
当期純利益	2,500	1,925	+29.9%
1株当たり利益	41.77	32.17	+29.9%

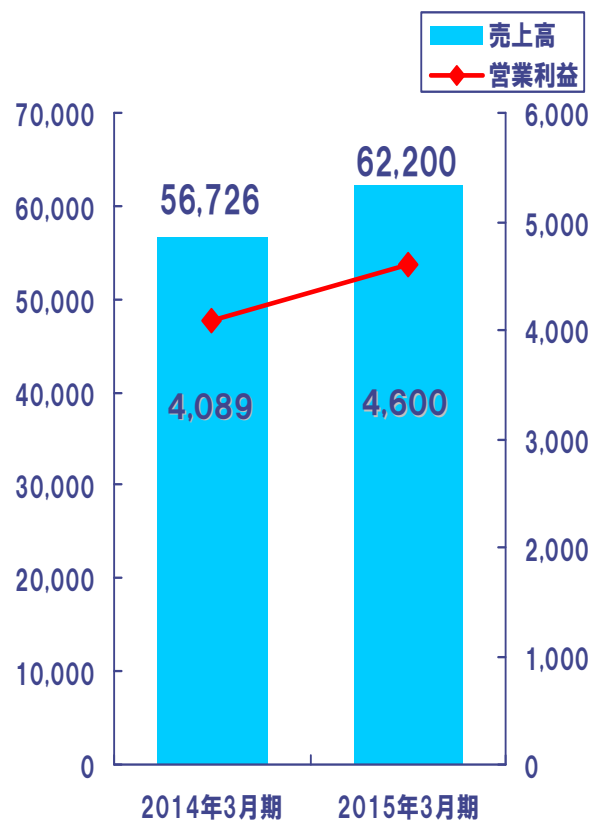


## 【業績予想のポイント】

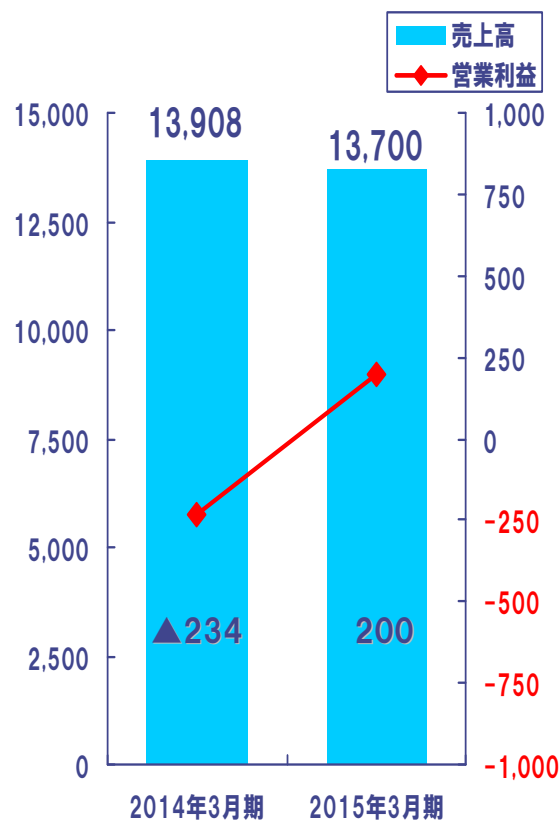
国内、海外とも景気は回復しているものの、消費税率の引き上げ、タイ国の政情不安、新興国経済の減速等の懸念材料あり。原材料上昇分の価格転嫁が必須。海外でのコンパウンドの伸びと、フィルムの新規製品の立ち上げに期待。

# セグメント別業績予想

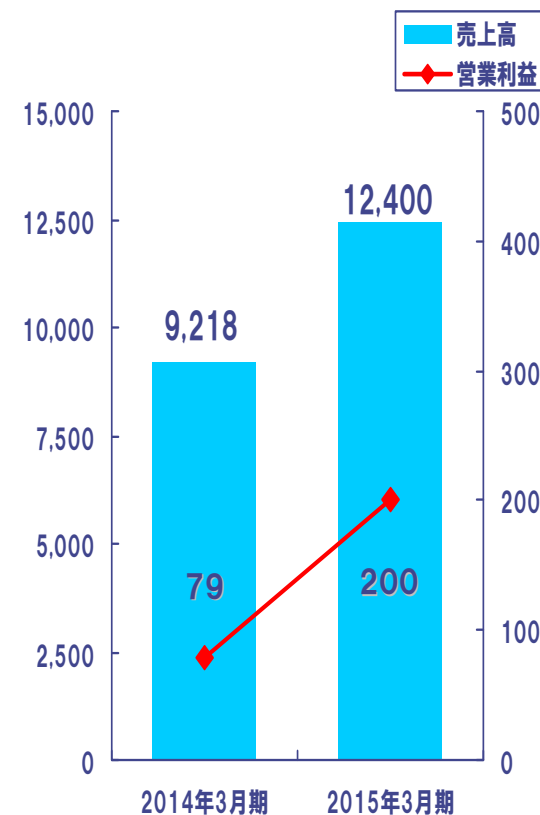
## コンパウンド



## フィルム



## 食品包材



(単位：百万円)

# 株主還元

## 配当金

## 安定配当

(円、%)

	中間	期末	通期	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
2011年3月期	4.00	4.00	8.00	24.0	1.61
2012年3月期	4.00	5.00	9.00	27.8	1.73
2013年3月期	4.00	5.00	9.00	40.2	1.64
2014年3月期	4.00	5.00	9.00	28.0	1.54
2015年3月期 (予想)	4.00	5.00	9.00	21.5	1.54

※2015年3月期（予想）における配当性向及び純資産配当率は、3月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

# 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## お問い合わせ先

[webmaster@rikentechnos.co.jp](mailto:webmaster@rikentechnos.co.jp)

経理部 前田